



飛騨っ子

令和3年12月22日 発行 NO11
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育推進専門職：水口 悟
 TEL：0577-33-1111（内線235）
 E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



成長の節目を とともに見つめる

I 高山市幼保小連携協議会の取組（飛騨っ子 NO2参照） 在宅取組型 基本的な生活習慣



・テーマ

「途切れのない支援とその見届け」

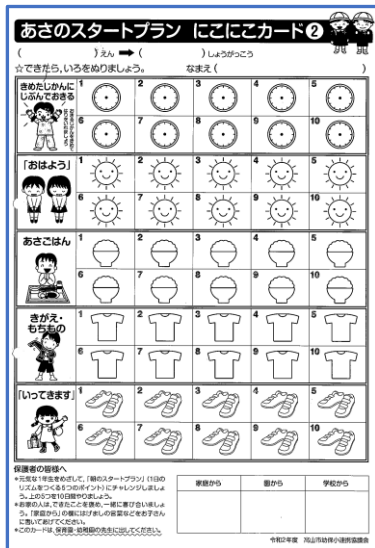


・子育て支援体制

高山市には、卒園と入学をスムーズにつなぐための仕組みとして「就学までにめざす姿 ～朝のスタートプラン～」が続いています。この取組を推進しているのは、学校教育課と子育て支援課の連携のもとに組織されている「高山市幼保小連携協議会」です。対象は、市内の保育園(24)と幼稚園(3)の年長児をもつ全てのご家庭です。

・取組の流れ

<就学までにめざす姿>



- ・6 月：「就学までにめざす姿」を配布
- ・9 月：にこにこカードNO1 を配布
(就学時健診に合わせて取り組む)
- ・12 月：にこにこカードNO2を対象者に配布
(入学説明会に合わせて取り組む)



・取組意欲を高めたり継続させたりするための工夫

- ・一日の始まりである朝の生活習慣について、取組の内容を焦点化してある。
- ・入学を控えた子どもたちと保護者が、取り組みやすいように就学時健診と入学説明会の時期に合わせてある。
- ・カード(NO1～NO2)の内容をバージョンアップさせてある。
- ・園児の実践を保護者・保育士・学校職員の三者が、コンパクトに見届けられるようにしてある。

<にこにこカード NO2>

・すばらしさ

- ① 市行政の二つの課が、テーマ「途切れのない支援とその見届け」のもと、連携して推進していること。
- ② 園児の取組を保護者・保育士・教職員の三者により見届けられる仕組みが定着していること。
- ③ 毎年の連携協議会で取組内容等を見直ししながら、継続的に取り組まれていること(今年度で9年目)。
- ④ 岐阜県の「話そう!語ろう!わが家の約束」運動につなげて、取り組まれていること。
- ⑤ 市行政の取組に合わせて、独自のカードを作成し継続して取り組まれている園があること。



<高山市立丹生川小学校>

・高山市立丹生川小学校(10/19)

丹生川小学校では、元気のよい約40名の園児が、たくさんの先生方に迎えられ保護者とともに受付に並びました。先生方が提出物の一つになっている「にこにこカードNO1」を受け取り、シールを貼り、取組について声をかけながら園児に手渡します。緊張していた園児の表情も和らぎます。来年度入学する学校の先生からの「よくがんばったね。」「待っているよ。」の一言は、高山市がめざす‘途切れない支援とその見届け’そのものです。



<私立こま草保育園>

・私立こま草保育園(10/28)

この日、こま草保育園では、園児のみなさんと保育士さんが栗の皮むきをしていました。今年は、園庭にある栗の木にたくさんの実がついたんです!と園長さんが喜んでみえました。どのカードにも、全ての子どもたちの取組に対し、支援が途切れることのないように三者による見届けが記してありました。

- (感想) ・保護者より：あさ、あなたの元気な“おはよう!!”で、とうちゃんもかあちゃんも一日がんばれるよ。
 ・保育士より：これからもまいにちがんばろうね。しょうがっこうが、たのしみだね。

2 高山市立西小学校PTA(12/16)

学校行事参加型 命の大切さ



- 対象 3年生児童(29名)と保護者
- テーマ 「私の誕生」
- 講師 高山赤十字病院 助産師のみなさん



(生涯学習課「家庭教育充実事業 学ぶPTA」事業を活用)

コロナ禍により、昨年度は実現できなかったこの取組を児童席と保護者席を分け実践されました。最初に児童による合唱が披露されました。マスク越しでも十分に親子がつながり合える歌声でした。まず、私が誕生するまでの成長の過程や家族の方々の思いを学習しました。私はお母さんのお腹を蹴るようになること、私は家族の声が聞こえるようになること、私は大好きなお母さんに会うために生まれる日を決めていること、産まれ来る私を抱きしめるためにお母さんや家族のみんなが私のそばで応援していること…。最後に、家族の方々が事前に書かれた私への手紙が手渡されました。子どもたちは、封を開け身がかがませながらじっと読み込んでいました。感想を保護者に伝えようと立ち上がった児童は、涙で言葉になりませんでした。先生から、「教室に戻る前に家族の人に一言伝えていいよ。」と言われると、子どもたちは後席にいるお母さんやお父さんに走り寄って抱きつき、なかなか離れようとしませんでした。子どもたちと保護者が改めてかけがえのない命の存在を感じ合った瞬間でした。

<児童の感想>

今日の授業で、わたしの赤ちゃんのときのことがそうぞうできました。そして、お母さんのつらかった気持ちが分かりました。お母さんは、10ヶ月もお腹に赤ちゃんがいたから、いたかったりだるかったりと思うのに、たえてきているからすごいと思いました。わたしもしょうらいは、新しい命とであい、幸せな家族ができるようにお母さんの気持ちを大切にしながらがんばりたいです。